

開催概要

このたび、金沢市で「全国小水力発電大会」を本年12月1日から3日までの3日間の日程で開催いたします。本大会は、小水力発電に関する最新情報や課題を共有し、小水力発電のさらなる普及を推進することを目的としています。

開催地金沢は、本州のほぼ中心に位置し、犀川・浅野川の清流を源流とした55を数える用水が総延長約150kmにわたって市内を巡っています。

これらの用水は、藩政期から飲料、灌漑、防火、融雪など市民生活に広く活用され、明治から大正期には、当時全国第二の規模を誇った金沢製糸場の動力や全国唯一の市営水力発電の創業など、地域のエネルギーとしても貢献してきました。

また、その流れは街並みに風情と潤いを醸し、曲水として民家の庭園に水景を残し、加賀料理や酒、茶の湯などの食文化を育みました。そしてこれらの文化に彩りを添える伝統工芸が栄え、主要産業として地域経済を支えています。

本大会のテーマは「水とともに歩む豊かなまちづくり～小水力発電がもたらす地域の発展～」です。

北陸新幹線開業により躍進する金沢で、小水力発電に関する国内外の最新技術や実践的な活用を議論するとともに、まちづくりにも寄与する地域資源として新たな価値を見出したいと思えます。

開催日	2016年12月1日(木)・2日(金)・3日(土)
開催場所	<p>●基調講演・パネルディスカッション・特別講演・分科会・企業展 金沢市文化ホール(ホール・大会議室・大集会室・会議室・展示ギャラリー) 〒920-0864 石川県金沢市高岡町15番1号 TEL:076-223-1221</p> <p>●交流会 金沢ニューグランドホテル 〒920-8688 石川県金沢市南町4番1号(金沢市文化ホール前) TEL:076-233-1311</p> <p>●エクスカージョン Aコース:用水のまち金沢 用水見て歩きコース Bコース:かなざわ次世代エネルギーパーク 小水力発電所見学コース Cコース:発電事業用 中小水力発電所見学コース</p>
主催	全国小水力発電大会開催実行委員会・金沢市・全国小水力利用推進協議会
後援	総務省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省、石川県、一般財団法人新エネルギー財団、一般社団法人ターボ機械協会
協賛	IM普及協議会、イームル工業株式会社、株式会社イズミ、株式会社イノアック住環境、荏原商事株式会社、株式会社柿本商会、株式会社協和コンサルタンツ、株式会社栗本鐵工所、株式会社ケネック、株式会社工営エナジー、国際航業株式会社、JAGシーベル株式会社、株式会社新日本コンサルタンツ、積水化学工業株式会社、株式会社センシズ、株式会社セントラル・ニューテクノロジー、大日本プラスチック株式会社、田中水力株式会社、東芝プラントシステム株式会社、株式会社東洋設計、日本アドックス株式会社、日本工営株式会社、日本小水力発電株式会社、能代電設工業株式会社、株式会社日立産機システム、フジコン株式会社、株式会社北陸精機、三井金属エンジニアリング株式会社、株式会社三井三池製作所、三峰川電力株式会社、株式会社明電舎
事務局	全国小水力発電大会開催実行委員会 事務局(金沢市環境局環境政策課内) 〒920-8577 石川県金沢市広坂1-1-1 TEL:076-220-2507 FAX:076-261-7755 Email:kansei@city.kanazawa.lg.jp